

## 本市の魅力・伝統・自然を次世代へ継承するとともに新たな魅力創出による市民の愛着を育むまちづくり

### 交付対象事業の背景・概要

#### A. 地方創生として目指す将来像(交付対象事業の背景)

本市は、斎藤道三公や織田信長公が築いた岐阜城をはじめ、江戸時代後期から戦前に建てられた町屋や、神社仏閣が数多く残り、歴史ロマンあふれる歴史・文化の地域資源が多くある。

また、自然豊かな金華山や、清流長良川において受け継がれている「ぎふ長良川の鶉飼」では国内外からの観光客を魅了するだけでなく、様々な用具に天然素材の原料を用いるなど、本市には古くから自然環境と共存する精神が根付いている。

先人より大切に守り育まれてきたこれらの歴史・文化資産や環境資産を保全し、将来の世代に受け継いでいくことは、今を生きる我々の責務であり、市民一人ひとりが地域固有の財産の持つ価値を再認識し、保全・継承していく機運を育む風土づくりを推進するとともに、既存の地域資源の魅力にとどまらず、新たな魅力を創出し、発信していくことも本市のさらなる成長のために重要である。

そのうえで、子どものころから成長の段階に応じて、地域への愛着を醸成することで、地元定着、もしくは就職や結婚等で一時的に市外に転出したとしても、Uターンや関係人口として関わる動機付けをしていく必要がある。

また、本市の魅力が市外の人にも認知されることで、本市に関わりたいと思う人の増加も見込まれ、将来的なUターンにもつながることが期待されるため、市外に対しても積極的に本市の魅力発信していくことが大切である。

これに加え、地方創生の一層の充実・深化が求められる中、持続可能なまちとなることが重要であり、まちづくりの担い手の確保や地域活力の維持・活性化の観点から、人口流出の抑制が必要である。

そのため、定住意識の向上を目指し、本市が誇る自然環境や地域資源を守るとともに新たな魅力の創出を図ることで、市民に本市への愛着や誇りを持ってもらう事業に取り組む。

以上ことから、本市の自然環境や地域資源を守り進化させるとともに、新たな魅力も創出し地域に対する誇りや愛着を醸成することを通じ、まちの担い手、原動力となる定住人口の増加を目指す。

#### B. 地方創生の実現における構造的な課題

地方創生を実現するためには、持続可能なまちとなることが重要であり、そのためには、まちづくりの担い手の確保など、人口流出の抑制が必要である。

そのような中、本市の社会動態は、改善傾向にあるものの転出超過が続いており、特に20代の転出超過が顕著である。

また、本市が毎年実施している市民意識調査の定住意向について年代別にみると、30代が73.7%、20代が67.7%、20歳未満が59.0%と若い世代ほど定住意向が低く、若い世代の市外転出は、進学や就職、結婚といった人生の転機がきっかけとなるものが多い。

このように、若者の転出超過は本市にとつての大きな問題であり、その流出を食い止め、定住人口を増やすことが課題である。

一方、同調査結果から本市への愛着や誇りと定住意向の関係をみてみると、まず岐阜市が好きかという問いに対して「好き」「どちらかといえば好き」と答えた人のうち、定住意向がある人は68.0%であるのに対し、「嫌い」「どちらかといえば嫌い」「どちらともいえない」と答えた人のうち、定住意向がある人は7.5%と低い。

また、岐阜市への誇りを「感じる」「どちらかといえば感じる」と答えた人のうち、定住意向がある人は49.8%であるのに対し、「感じない」「どちらかといえば感じない」「どちらともいえない」と答えた人のうち、定住意向がある人は27.3%であるなど、市民の本市に対する愛着や誇りの度合いが定住意向に関係しており、定住人口を増やすためには本市への愛着や誇りを高める必要があると分かる。

そのために、子どものころから、本市の歴史や文化、自然、観光など郷土の魅力に触れ、地域の様々な人と関わりながら自分の住む地域の学びを深め、郷土愛の醸成を図る取組みを推進する。

また、市外の方も含め、市民に本市の魅力に触れてもらえるよう、伝統や文化、自然環境等をしっかりと守り、後世に残していくとともに、既存の地域資源にのみ頼るのではなく、新たな魅力の創出にも取り組んでいく。

それにより、本市への愛着や誇りを高め、人生の転機においても本市で暮らし続けることを選択する人や、一度転出してもUターンの選択肢を持つ人の増加につながることで、地域を支える原動力でもあり、未来へ向けての推進力にもなる若者の転出を抑制し、定住人口の増加を目指す。

#### C. 交付対象事業の概要

本市には、経済産業省により伝統的工芸品に指定されている岐阜提灯・岐阜和傘をはじめ、国重要無形民俗文化財に指定され、国内外から観光客が訪れる「ぎふ長良川の鶉飼」など、先人達が大切に守り、育んできた魅力的な文化、伝統が多くあるため、そのような地域資源に愛着を持つことができるような事業を実施していく。

特に岐阜和傘については、令和4年3月に経済産業省から伝統的工芸品の指定を受けたものの、市民意識調査において岐阜市の魅力は何かを尋ねる設問では、岐阜和傘を選択する人が約25%と低く、その価値や魅力を知らない市民も多く存在していることがわかることから、多くの人にとって、普段使用する機会が少ない岐阜和傘を、気軽に使うことができるような機会を設け、認知度を高める取組を展開していく。

それと共に映画等で取り上げられている、信長時代の岐阜城山麓部、山上部の様子を最新の調査結果をもとに、仮想空間上に再現する事業や、本市の重要な歴史文化の発信拠点である岐阜市歴史博物館の展示内容の刷新・充実のための事業を実施する。

さらには、歴史的景観の残る伊奈波エリアにおいて、歴史的な佇まいや文化・伝統を守り、継承していくため、ワークショップ等を通じてまちづくりに携わる人の掘り起こしと育成を実施し、地域資源や魅力の発掘を図り、アクションプランを進めていく。

また、地域、学校と連携し、本市の未来を担う子どもたちへの独自の地域学として、歴史や文化、自然といった郷土の魅力に直接触れ、地域の様々な人と関わりながら自分の住む地域を学び、地域社会の一員であることを意識させることで、地域の担い手となるひとづくりにつながる事業を実施する。

これらに加え、本市は市の中心部に清流長良川が流れ、周囲には緑豊かな金華山がそびえる、自然豊かな都市である。

毎年実施している市民意識調査でも、自然豊かなまちだと思ふかという設問に対し、5年連続で90%以上の人が肯定的な回答をしている。

これらの恵まれた自然環境と、そこに育まれてきた多種多様な生きものを、後世に引き継ぐことは本市の責務であるとの思いから、市内に生息する動植物の調査を実施し、本市における生物多様性の現状を把握することで、自然生態系の保全へと繋げていくとともに、市民や子どもたちに、シンボジウムや出前講座などを通じて把握した結果を共有する取り組みを通じ、本市の豊かな自然を守り、誇りに思う意識の醸成を図る。

このほか、新たな魅力創出の一環として、2020年東京オリンピックで競技種目に採用され、スポーツの枠にとらわれない気軽さから近年広がりを見せつつあるアーバンスポーツに先進的に取り組み、アーバンスポーツの発信地を目指すことで、新たな魅力創出につなげていく。

これら本市の魅力が、市内外に認知されることで、本市に関わりたいと思う人の増加も見込まれ、将来的な定住人口、関係人口の拡大につながるため、本市が有する魅力的な地域資源を、様々なデジタル技術や媒体などを用いて発信する事業を実施する。

地域の多様な主体の参画

地方公共団体名								
分類	産	産	産	学	学	言	住民全般	
	主体名	プロ野球球団	㈱岐阜まち家守	日本国際広報戦略機構	小中学校	高等学校	在名テレビジョン放送局	市民団体
岐阜県岐阜市	<p>【役割】 来場者への情報発信</p> <p>【意見・改善方策】 プロ野球球団から「地元自治体のPRに貢献するため、引き続き連携して取り組みたい」との意向が示されていること、「特産品や地域資源のPRだけでは、移住定住のイメージが湧きにくい」との意見があったため、エリアにフォーカスをあてて魅力を発信する。具体的には、一般参加型のシティプロモーションとして、本事業において画像投稿等による岐阜市の代表的な魅力エリアを対象とした総選挙を新たに実施する。「選挙」という参加型のコンテンツを取り入れることで、受動的から能動的な関心喚起への転換を図り、認知はあるものの行動に移せていない人の誘客につなげる。</p>	<p>【役割】 都市再生推進法人として行政と連携したまちづくりに取り組む</p> <p>【意見・改善方策】 都市再生推進法人である岐阜まち家守より、伊奈波エリアでの転出者抑制だけではなく、地域と連携しながら進め、波及させる必要性についての意見があったため、エリアを拡大して事業を実施する。また、リノベーションスクールの開催により遊休不動産の活用案創出も予定しており、これらの取組により岐阜市に居続ける価値を創出し転出抑制を図るとともに、新たな価値創造により転入者を呼び込む。</p>	<p>【役割】 大会や体験イベント等の開催。参加者からの意見を吸い上げ、情報提供。</p> <p>【意見・改善方策】 障がいのある人などでもアクションスポーツ等に取り組める環境づくりが必要であるとの意見があったため、車いすバスケの体験会を新たに実施する予定である。</p>	<p>【役割】 本市をフィールドとし、自らの目に見えるリアルな「人・もの・こと」を対象とした学びの実践</p> <p>【意見・改善方策】 授業を受けた子どもたちからのフィードバックを事業内容に反映</p>	<p>【役割】 本市の自然環境を部活動を通して生徒へ共有</p> <p>【意見・改善方策】 調査結果のデータベースを作成し、公開することにより、本市の自然環境に興味や愛着を持つ子ども達が増加するとの意見があったため、データベースの作成を行う。また、本市の豊かな自然を守り誇りに思う意識を醸成するためには大学生や高校生のみならず、小中学生にも情報を共有していくことが必要だと事業の継続を求める意見があった。データベース作成により、開発などに対して適切な保全策を進めることができるようになり、継続データの蓄積による他地域との比較優位性の可視化も可能となる。これまで協働関係にあった大学、高校の科学部に加えて、小中学生が主な対象であることもエコクラブにも情報を共有し、小中学生まで対象を拡大することにより、幅広い世代の子どもたちの地域への関心を引きつけ、岐阜市への愛着醸成へ繋げる。</p>	<p>【役割】 東海圏への情報発信</p> <p>【意見・改善方策】 共同して情報番組での岐阜市の紹介資料及びCMの作成に取り組む。</p>	<p>【役割】 ハンドブック「長良川鶴飼再発見」の魅力を発信</p> <p>【意見・改善方策】 効果的な情報発信をするために、意見を求めながら進めていく。</p>	
	<p>主な役割、意見及び改善方策への反映</p>							

<2023年度(1年目)>

全事業期間における本年の位置付け	<p>○本市の魅力的な歴史・伝統・自然に愛着や誇りを持ち、新たな魅力を創出する土台づくり          初年度は、歴史博物館のリニューアルに向けた基本計画の策定やメタバース岐阜城プロジェクトにおけるシステム開発に着手するとともに、長良川鵜飼をPRするハンドブックの作成に向けた準備、さらには令和4年3月に伝統的工芸品の認定を受けた岐阜和傘を市民にとってより身近に感じてもらうための本庁舎周辺での貸し出し事業や本市をフィールドとして、自分の目の前にあるリアルな「人・もの・こと」を対象とした探究的な学びのスタートなど、本市固有の地域資源に愛着や誇り育むための土台づくりをしていく。          このほか、新たな魅力創出の取り組みとして、アーバンスポーツの推進のためのイベントを初めて実施することや歴史的景観の残る伊奈波エリアにて、ワークショップを通じてまちづくりに携わる人の掘り起こしと育成を実施することに加え、本市がこれまで守ってきた豊かな自然を今後も後世へ受け継いでいくための影響調査とその結果を市民と共有する事業を実施していく。          そして、これら本市の魅力などを集客力のあるプロ野球ゲームにおいて、来場者に向け発信するとともに、シビックプライドに関わる情報発信のための移動可能なメディアラボ(ブース)を作成する。</p>									
	事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③		
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月				
交付対象事業経費	交付対象事業におけるソフト事業経費						要素事業数	9	計	86,730千円
										82,310千円
1	<p>岐阜和傘需要喚起事業          2021年度に岐阜和傘が「伝統的工芸品」に指定されたことを受け、岐阜市役所本庁舎とみんなの森ぎふメディアコスモス間を移動する際に、市民が気軽に岐阜和傘を利用できるようにする。触れる機会が少ない岐阜和傘に触れ、身近に感じてもらうことで、市民のシビックプライドを醸成するとともに、使用時の写真をSNS等で発信してもらうことにより、岐阜和傘の周知、販売促進を図る。また、和傘は岐阜和傘協会会員から購入することにより、伝統的工芸品を継承する職人への支援を図る。          購入費：484千円</p>		関連するKPI		①、③				484千円	
2	<p>ハンドブック「長良川鵜飼再発見」リニューアル          2022年度に長良川鵜飼未来シンポジウムを開催し、市民の鵜飼に対する関心が高まりつつあるなかで、ユネスコ無形文化遺産登録に向け、国内外に鵜飼の魅力をより分かりやすく発信する必要がある。そのため、2012年度に作成したハンドブック「長良川鵜飼再発見」を全面的に刷新し、従来の紙媒体の書籍に加え、電子書籍も販売する。また、概要版を作成し、英語や中国語にも翻訳して配布する。市民団体の「長良川鵜飼文化応援団」と協働で作成することにより、岐阜市全体で鵜飼に対する盛り上がり創出する。2023年度は、ライター及び応援団による編集会議を進めながら、様々な関係者に対する取材を行う。          ハンドブックライター報償費：91千円          ハンドブックライター旅費：102千円          取材船借上料：0千円</p>		関連するKPI		①、③				193千円	
3	<p>メタバース岐阜城プロジェクトー戦国岐阜城仮想再現計画ー          信長時代の岐阜城山上部、山麓部の様子を最新の調査成果に基づき仮想空間上に再現し、現地では立ち入り禁止となっている場所も自由に見学できるようにすることで、岐阜城について詳しく知ってもらう。また、仮想空間内での見学会や、イベント等を開催し、国内外の人にも岐阜城の魅力を発信できるようにする。それにより、市民が身近な存在である岐阜城の価値を見つめなおし、本市への愛着や誇りの醸成を図る。2023年度は、メタバースのシステムを開発し、山麓居館部分をメタバース上で公開する。また、発掘調査が進む山上部の2024年度公開に向け、データを作成する。          協議会への負担金：34,485千円          ※協議会がメタバース岐阜城作成業務を民間事業者へ委託</p>		関連するKPI		①、③				34,485千円	
4	<p>歴史博物館総合展示室リニューアル事業          歴史博物館は昭和60年に開館し、平成17年に総合展示室をリニューアルしているが、その後17年が経過し、展示設備の老朽化および展示効果の低減がみられる。史跡岐阜城跡の整備を含む、岐阜公園再整備関連事業とリンクしたリニューアルを実施することにより、本市固有の歴史文化を知ることができるような展示の充実を図り、地域の魅力向上と、市民の本市への愛着を創出するため、有識者会議を開催し、基本計画を策定する。          委員報酬：128千円          有識者報償費：0千円          委員旅費：147千円          有識者旅費：73千円          食糧費：2千円</p>		関連するKPI		①、③				350千円	
5	<p>岐阜市の自然情報継続調査事業          岐阜市は清流長良川と緑豊かな金華山を有する自然豊かな都市である。これらの恵まれた自然環境とそこに育まれてきた多種多様な生きものを後世に引き継ぐため、市内に生息する動植物の調査を実施することで、生物多様性の現状を把握し、自然生態系の保全へと繋げていく。また、シンポジウムや出前講座などを通じて、市民や子どもたちに、把握した結果を共有する取り組みにより、本市の豊かな自然を守り、誇りに思う意識の醸成を図る。          委託費：2,420千円</p>		関連するKPI		①、③				2,420千円	
6	<p>「ぎふMIRAI's」推進事業          岐阜市をフィールドとして、自分の目の前にあるリアルな「人・もの・こと」を対象とした探究的な学びを実施することにより、児童生徒一人ひとりが岐阜市の自然・歴史・伝統文化・産業・くらし等を深く理解し、岐阜市で活躍する様々な人の生き方に触れる。そうすることで、岐阜市に対する愛着と誇りを持ち、自分の生き方について考えることを通して、将来どこで生きようとも自分の原点である岐阜市を心の拠り所として、グローバルな視野で自分の未来を拓くことができる力を育む。          報償費：900千円          バス賃借料：15,918千円</p>		関連するKPI		③、④				16,818千円	
7	<p>アーバンスポーツ活性化推進事業          オリンピックの競技種目として、次々に採用されているアーバンスポーツは、従来のスポーツの枠にとらわれない気軽さから、若年層の人氣が高まっている。創成期にあるアーバンスポーツにいち早く取り組み、国内選手による大会や体験イベント等を開催、さらには市内施設を利用し、子どもたちに専門的な指導を受ける機会を創出し、競技のすそ野拡大を目指すことで、アーバンスポーツの発信地の一つとなるよう、本市の新しい魅力創出を図っていく。          負担金：8,000千円          講師謝金：660千円          保険料：6千円          使用料：70千円          印刷製本費：52千円          オンライン決済手数料：4千円</p>		関連するKPI		②、③				8,792千円	

8	<p>民間主導まちづくり支援事業</p> <p>歴史的な竹まいや文化・伝統のある本市の伊奈波エリアにおいて、ワークショップ等を通じた人材の掘り起こしと育成や地域資源の発掘や魅力の共有、さらには今後のまちのイメージづくり・共有化を図ることで、地域への愛着をもつ人を育て、創出を図り、当該エリアの歴史や文化、伝統を守り、継承していく。</p> <p>委託料: 14,501千円</p>	<p>関連するKPI ③</p>	14,501千円
9	<p>プロ野球公式戦を活用したシティプロモーション</p> <p>集客力の高いイベントであるプロ野球のゲームにおいて、来場者に向けたシティプロモーションを実施する。多くの来場者にPRグッズの配布やビジョンCMIにより、岐阜市を印象づける。また、長良川、岐阜城、ぎふ・長良川の鶉飼などの地域資源やさまざまな魅力情報を発信していく。</p> <p>広告料: 4,267千円 委託費: 0千円</p>	<p>関連するKPI ③</p>	4,267千円
<p>交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費</p>		<p>要素事業数 2 計</p>	4,420千円
1	<p>歴史博物館総合展示室リニューアル事業</p> <p>歴史博物館は昭和60年に開館し、平成17年に総合展示室をリニューアルしているが、その後17年が経過し、展示設備の老朽化および展示効果の低減がみられる。史跡岐阜城跡の整備を含む、岐阜公園再整備関連事業とリンクしたリニューアルを実施することにより、本市固有の歴史文化を知ることができるような展示の充実を図り、地域の魅力向上と、市民の本市への愛着を創出するため、基本計画の策定を行う。</p> <p>業務委託: 2,420千円</p>	<p>関連するKPI ①、③</p>	2,420千円
2	<p>屋外用メディアラボ製作業務委託</p> <p>屋根のある公園を掲げる、岐阜市の複合文化施設「みんなの森ぎふメディアコスモス」の活動を外へ拡張し、シビックプライドに関わる情報発信をするための、移動可能なメディアラボ(ブース)を製作する。ワークショップで市民の意見を聞きながら作成し、完成後はシビックプライドに関わる情報展示ブースや屋外用ワークショップの拠点として活用する。</p> <p>委託費(ワークショップ開催費、メディアラボ製作費): 2,000千円</p>	<p>関連するKPI ③</p>	2,000千円

<2024年度(2年目)>

全事業期間における本年の位置付け	○本市の歴史・伝統・自然の魅力向上と新たな魅力の浸透 2年目は、歴史博物館のリニューアルに向けた実施設計の策定や、メタバース岐阜城プロジェクトにおいて初年度に作成した山麓部に加え、山上部公開のためのデータ作成に着手する。さらには、長良川鵜飼をPRするハンドブックを完成させるとともに、岐阜和傘の本庁舎周辺等での貸し出し事業や本市をフィールドとした探究的な学びの実践を継続するなど、本市固有の地域資源の魅力向上と市民の本市への愛着や誇りの醸成を図っていく。 また、新たな魅力創出の取り組みのスタートを切った初年度に続き、アーバンスポーツの推進のためのイベント等を継続実施や歴史的景観の残る伊奈波エリアでの初年度の実績を踏まえ、アクションプラン作りの準備を進めていくことで新たな魅力を浸透させていく。このほか、初年度からの自然環境への影響調査とその結果を市民へ共有を図ることを継続実施していく。 そして、これら本市の魅力などを集客力のあるプロ野球ゲームにおいて、来場者に向け発信する。							
	事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2024年4月	2025年3月	2024年3月		年 月		年 月		
交付対象事業経費							107,086千円	
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	9	計	87,066千円
1	岐阜和傘需要喚起事業			関連するKPI	①、③		0千円	
2021年度に岐阜和傘が「伝統的工芸品」に指定されたことを受け、岐阜市役所本庁舎とみんなの森ぎふメディアコスモス間に加え、JR岐阜駅、岐阜公園周辺等にエリアを拡大し、市民が気軽に岐阜和傘を利用できるようにする。触れる機会が少ない岐阜和傘に触れ、身近に感じてもらうことで、市民のシビックプライドを醸成するとともに、使用時の写真をSNS等で発信してもらうことにより、岐阜和傘の周知、販売促進を図る。また、和傘は岐阜和傘協会会員から購入することにより、伝統的工芸品を継承する職人への支援を図る。2年目に当たる今年度は、1年目に購入した和傘を効率的に活用していくことで、経費の削減を図りつつ、より多くの人に和傘について知ってもらうようにPRしていく。								
2	ハンドブック「長良川鵜飼再発見」リニューアル			関連するKPI	①、③		530千円	
2022年度に長良川鵜飼未来シンポジウムを開催し、市民の鵜飼に対する関心が高まりつつあるなかで、ユネスコ無形文化遺産登録に向け、国内外に鵜飼の魅力をより分かりやすく発信する必要がある。そのため、2012年度に作成したハンドブック「長良川鵜飼再発見」を全面的に刷新し、従来の紙媒体の書籍に加え、電子書籍も販売する。市民団体の「長良川鵜飼文化応援団」と協働で作成することにより、岐阜市全体で鵜飼に対する盛り上がり創出する。2024年度は、関係者に対する取材を継続していくことで、鵜飼についての理解を深め、次年度のハンドブック作成に活かしていく。 ハンドブックライター報償費：184千円 ハンドブックライター旅費：346千円								
3	メタバース岐阜城プロジェクト—戦国岐阜城仮想再現計画—			関連するKPI	①、③		26,075千円	
信長時代の岐阜城山上部、山麓部の様子を最新の調査成果に基づき仮想空間上に再現し、現地では立ち入り禁止となっている場所も自由に見学できるようにすることで、岐阜城について詳しく知ってもらう。また、仮想空間内での見学会や、イベント等を開催し、国内外の人にも岐阜城の魅力を発信できるようにする。それにより、市民が身近な存在である岐阜城の価値を見つめなおし、本市への愛着や誇りの醸成を図る。2024年度は、発掘調査が進んでいる、岐阜城山上部をメタバースで公開する。 協議会への負担金：26,075千円 ※協議会がメタバース岐阜城作成業務を民間事業者へ委託								
4	歴史博物館総合展示室リニューアル事業			関連するKPI	①、③		185千円	
歴史博物館は昭和60年に開館し、平成17年に総合展示室をリニューアルしているが、その後18年が経過し、展示設備の老朽化および展示効果の低減がみられる。史跡岐阜城跡の整備を含む、岐阜公園再整備関連事業とリンクしたリニューアルを実施することにより、本市固有の歴史文化を知ることができるような展示の充実を図り、地域の魅力向上と、市民の本市への愛着を創出するため、プロポーザルを実施し、実施設計を策定する。 委員報酬：55千円 委員旅費：119千円 有識者報酬：10千円 有識者旅費：1千円 食糧費：0千円								
5	岐阜市の自然情報継続調査事業			関連するKPI	①、③		2,992千円	
岐阜市は清流長良川と緑豊かな金華山を有する自然豊かな都市である。これらの恵まれた自然環境とそこに育まれてきた多種多様な生きものを後世に引き継ぐため、市内に生息する動植物の調査を実施することで、生物多様性の現状を把握し、自然生態系の保全へと繋げていく。また、シンポジウムや出前講座などを通じて、市民や子どもたちに、把握した結果を共有する取り組みにより、本市の豊かな自然を守り、誇りに思う意識の醸成を図る。 委託費：2,992千円								
6	「ぎふMIRAI's」推進事業			関連するKPI	③、④		22,201千円	
岐阜市をフィールドとして、自分の目の前にあるリアルな「人・もの・こと」を対象とした探究的な学びを実施することにより、児童生徒一人ひとりが岐阜市の自然・歴史・伝統文化・産業・くらし等を深く理解し、岐阜市で活躍する様々な人の生き方に触れる。そうすることで、岐阜市に対する愛着と誇りをもち、自分の生き方について考えることを通じて、将来どこで生きようとも自分の原点である岐阜市を心の拠り所として、グローバルな視野で自分の未来を拓くことができる力を育む。 報償費：2,500千円 バス賃借料：14,300千円 委託料：5,401千円								
7	アクションスポーツ活性化推進事業			関連するKPI	②、③		10,792千円	
オリンピックの競技種目として、次々に採用されているアクションスポーツは、従来のスポーツの枠にとらわれない気軽さから、若年層の人気が高まっている。創成期にあるアクションスポーツにいち早く取り組み、国内選手による大会や体験イベント等を開催、さらには市内施設を利用し、子どもたちに専門的な指導を受ける機会を創出し、競技のすそ野拡大を目指すことで、アクションスポーツの発信地の一つとなるよう、本市の新しい魅力創出を図っていく。 負担金：10,000千円 講師謝金：660千円 保険料：6千円 使用料：20千円 印刷製本費：101千円 オンライン決済手数料：5千円								

8	民間主導まちづくり支援	関連するKPI	③	16,176千円	
	歴史的な佇まいや文化・伝統のある本市の伊奈波エリアにおいて、2023年度事業による今後のまちの可能性・方向性のキーワードを基に、具体的なアクションプランの作成・実践をすることで、地域への愛着をもつ人を育て、創出を図り、当該エリアの歴史や文化、伝統を守り、継承していく。 委託料: 16,176千円				
9	プロ野球公式戦を活用したシティプロモーション	関連するKPI	③	8,115千円	
	集客力の高いイベントであるプロ野球のゲームにおいて、来場者に向けたシティプロモーションを実施する。多くの来場者にPRグッズの配布やビジョンCMIにより、岐阜市を印象づける。また、長良川、岐阜城、ぎふ長良川の鶯飼などの地域資源やさまざまな魅力情報を発信していく。また、ドームに隣接するイオンモールにおいて、PRブースなどを設置し、イオンモールへの単独利用者に対する「新規層へのプロモーション」、イオンモールとドーム併用者に対する「重層的なプロモーション」を実施する。 広告料: 5,115千円 委託料: 3,000千円				
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費		要素事業数	1	計	20,020千円
1	歴史博物館総合展示室リニューアル事業	関連するKPI	①、③	20,020千円	
	歴史博物館は昭和60年に開館し、平成18年に総合展示室をリニューアルしているが、その後17年が経過し、展示設備の老朽化および展示効果の低減がみられる。史跡岐阜城跡の整備を含む、岐阜公園再整備関連事業とリンクしたリニューアルを実施することにより、本市固有の歴史文化を知ることができるような展示の充実を図り、地域の魅力向上と、市民の本市への愛着を創出するため、実施設計を行う。 業務委託: 20,020千円				

<2025年度(3年目)>

全事業期間における本年の位置付け	<p>○本市の伝統的な歴史・文化、自然や新たな魅力に対する愛着や誇りの定着          3年目は、歴史博物館のリニューアルに向けた工事や、メタバース岐阜城プロジェクトでは、初年度及び2年目に作成した山麓部、山上部データを岐阜公園や歴史博物館などにおける観光ツールや学校教育の現場など様々な場で活用していく。さらには、長良川鵜飼をPRするハンドブックを現物も含む電子書籍等で販売するとともに、岐阜和傘の本庁舎周辺等での貸し出し事業や本市をフィールドとした探究的な学びの実践を3年目も引き続き実施するなど、市民の本市への愛着や誇りの定着を図っていく。          また、アーバンスポーツの推進のためのイベントを3年目も実施することに加え、歴史的景観の残る伊奈波エリアでの地域資源を活かした未来像を地域等で共有することで新たな魅力の定着を図っていく。このほか、初年度からの自然環境への影響調査とその結果を市民へ共有を図ることを継続して実施していく。          そして、これら本市の魅力などを集客力のあるプロ野球ゲームにおいて、来場者に向け発信する。</p>									
	事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③		
2025年4月	2026年3月	2025年3月	当初	年	年	年	年	年		
交付対象事業経費		交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数		9	計
									276,009千円	
1	岐阜和傘需要喚起事業	関連するKPI ①、③							0千円	
<p>2021年度に岐阜和傘が「伝統的工芸品」に指定されたことを受け、岐阜市役所本庁舎とみんなの森ぎふメディアコスモス間に加え、JR岐阜駅、岐阜公園周辺等にエリアを拡大し、市民が気軽に岐阜和傘を利用できるようにする。触れる機会が少ない岐阜和傘に触れ、身近に感じてもらうことで、市民のシビックプライドを醸成するとともに、使用時の写真をSNS等で発信してもらうことにより、岐阜和傘の周知、販売促進を図る。また、和傘は岐阜和傘協会会員から購入することにより、伝統的工芸品を継承する職人への支援を図る。3年目も1年目に購入した和傘を効率的に活用していくことで、経費の削減を図りつつ、より多くの人に和傘について知ってもらうようにPRしていく。          購入料:0千円</p>										
2	ハンドブック「長良川鵜飼再発見」リニューアル	関連するKPI ①、③							1,774千円	
<p>2022年度に長良川鵜飼未来シンポジウムを開催し、市民の鵜飼に対する関心が高まりつつあるなかで、ユネスコ無形文化遺産登録に向け、国内外に鵜飼の魅力をより分かりやすく発信する必要がある。そのため、2012年度に作成したハンドブック「長良川鵜飼再発見」を全面的に刷新し、従来の紙媒体の書籍に加え、電子書籍も販売する。市民団体の「長良川鵜飼文化応援団」と協働で作成することにより、岐阜市全体で鵜飼に対する盛り上がりを出す。          ハンドブックリニューアル業務委託:1,350千円          ハンドブックライター報償費:386千円          ハンドブックライター旅費:38千円</p>										
3	メタバース岐阜城プロジェクトー戦国岐阜城仮想再現計画ー	関連するKPI ①、③							0千円	
<p>信長時代の岐阜城山上部、山麓部の様子を最新の調査成果に基づき仮想空間上に再現し、現地では立ち入り禁止となっている場所も自由に見学できるようにすることで、岐阜城について詳しく知ってもらう。また、仮想空間内での見学会や、イベント等を開催し、国内外の人にも岐阜城の魅力を発信できるようにする。それにより、市民が身近な存在である岐阜城の価値を見つめなおし、本市への愛着や誇りの醸成を図る。          協議会への負担金:0千円</p>										
4	歴史博物館総合展示室リニューアル事業	関連するKPI ①、③							0千円	
<p>歴史博物館は昭和60年に開館し、平成17年に総合展示室をリニューアルしているが、その後19年が経過し、展示設備の老朽化および展示効果の低減がみられる。史跡岐阜城跡の整備を含む、岐阜公園再整備関連事業とリンクしたリニューアルを実施することにより、本市固有の歴史文化を知ることができるような展示の充実を図り、地域の魅力向上と、市民の本市への愛着を創出するため、リニューアルを実施する。          0千円</p>										
5	岐阜市の自然情報継続調査事業	関連するKPI ①、③							3,091千円	
<p>岐阜市は清流長良川と緑豊かな金華山を有する自然豊かな都市である。これらの恵まれた自然環境とそこに育まれてきた多種多様な生きものを後世に引き継ぐため、市内に生息する動植物の調査を実施することで、生物多様性の現状を把握し、自然生態系の保全へと繋げていく。また、シンポジウムや出前講座などを通じて、市民や子どもたちに、把握した結果を共有する取り組みにより、本市の豊かな自然を守り、誇りに思う意識の醸成を図る。          委託費:3,091千円</p>										
6	「ぎふMIRAI's」推進事業	関連するKPI ③、④							20,486千円	
<p>岐阜市をフィールドとして、自分の目の前にあるリアルな「人・もの・こと」を対象とした探究的な学びを実施することにより、児童生徒一人ひとりが岐阜市の自然・歴史・伝統文化・産業・くらし等を深く理解し、岐阜市で活躍する様々な人の生き方に触れる。そうすることで、岐阜市に対する愛着と誇りを持ち、自分の生き方について考えることを通じて、将来どこで生きようとも自分の原点である岐阜市を心の拠り所として、グローバルな視野で自分の未来を拓くことができる力を育む。          報償費:2,664千円          バス賃借料:16,000千円          委託料:1,822千円</p>										
7	アクションスポーツ活性化推進事業	関連するKPI ②、③							10,792千円	
<p>オリンピックの競技種目として、次々に採用されているアクションスポーツは、従来のスポーツの枠にとられない気軽さから、若年層の人気が高まっている。創成期にあるアクションスポーツにいち早く取り組み、国内選手による大会や体験イベント等を開催、さらには市内施設を利用し、子どもたちに専門的な指導を受ける機会を創出し、競技のすそ野拡大を目指すことで、アクションスポーツの発信地の一つとなるよう、本市の新しい魅力創出を図っていく。          負担金:10,000千円          講師謝金:660千円          保険料:6千円          使用料:70千円          印刷製本費:51千円          オンライン決済手数料:5千円</p>										

8	<p>民間主導まちづくり支援</p> <p>歴史的な佇まいや文化・伝統のある本市の伊奈波エリアにおいて、まちの未来像を地域等で共有するシンポジウムなどを開催することで、地域への愛着をもつ人を育て、創出を図り、当該エリアの歴史や文化、伝統を守り、継承していく。</p> <p>委託料: 14,876千円</p>	関連するKPI	③	14,876千円	
	<p>プロ野球公式戦等を活用したシティプロモーション</p> <p>集客力の高いイベントであるプロ野球のゲームにおいて、来場者に向けたシティプロモーションを実施する。多くの来場者にPRグッズの配布やビジョンCMにより、岐阜市を印象づける。また、長良川、岐阜城、ぎふ長良川の鵜飼などの地域資源やさまざまな魅力情報を発信していく。ドームに隣接するイオンモールにおいて、岐阜市魅力発信庁内連携PRブースを週末の2日間設置するとともに、バンテリンドームで実施する「Gifu City Day」の試合開始前や試合終了後を有効活用し、プロモーション活動を展開する。また、在名局放送エリア世帯の約507万世帯(岐阜県85万、愛知県340万、三重県82万世帯)に対し、情報番組及びCMで、名古屋からのアクセスが良好で働きやすい環境をPRするとともに、本市の地域資源などの魅力を紹介することで、本市の認知度向上を図る。</p> <p>広告料: 5,652千円 委託料: 8,000千円</p>	関連するKPI	③	13,652千円	
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費		要素事業数	1	計	211,338千円
1	<p>歴史博物館総合展示室リニューアル事業</p> <p>歴史博物館は昭和60年に開館し、平成17年に総合展示室をリニューアルしているが、その後19年が経過し、展示設備の老朽化および展示効果の低減がみられる。史跡岐阜城跡の整備を含む、岐阜公園再整備関連事業とリンクしたリニューアルを実施することにより、本市固有の歴史文化を知ることができるような展示の充実を図り、地域の魅力向上と、市民の本市への愛着を創出するため、リニューアルを実施する。</p> <p>・リニューアル改葬経費(委託料): 415,000千円 総合展示室等の全面改装により、戦国城下町、岐阜の魅力を発信する展示を強化 ※このうち、211,338千円を交付対象経費とする</p>	関連するKPI	①、③	211,338千円	

全事業期間における本年の位置付け		○本市の伝統的な歴史・文化、自然や新たな魅力に対する愛着や誇りの強化					
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2026年4月	2027年3月	2026年3月	当初	年 月		年 月	
交付対象事業経費							69,646千円
交付対象事業におけるソフト事業経費				要素事業数	9	計	69,646千円
1	岐阜和傘需要喚起事業		関連するKPI		①、③		0千円
	2021年度に岐阜和傘が「伝統的工芸品」に指定されたことを受け、岐阜市役所本庁舎とみんなの森ぎふメディアコスモス間に加え、JR岐阜駅、岐阜公園周辺等にエリアを拡大し、市民が気軽に岐阜和傘を利用できるようにする。触れる機会が少ない岐阜和傘に触れ、身近に感じてもらうことで、市民のシビックプライドを醸成するとともに、使用時の写真をSNS等で発信してもらうことにより、岐阜和傘の周知、販売促進を図る。また、和傘は岐阜和傘協会会員から購入することにより、伝統的工芸品を継承する職人への支援を図る。今後も1年目に購入した和傘を効率的に活用していくことで、経費の削減を図りつつ、より多くの人に和傘について知ってもらうようにPRしていく。 購入料:0千円						
2	ハンドブック「長良川鶺鴒再発見」リニューアル		関連するKPI		①、③		0千円
	2022年度に長良川鶺鴒未来シンポジウムを開催し、市民の鶺鴒に対する関心が高まりつつあるなかで、ユネスコ無形文化遺産登録に向け、国内外に鶺鴒の魅力をもっと分かりやすく発信する必要がある。そのため、2012年度に作成したハンドブック「長良川鶺鴒再発見」を全面的に刷新し、従来の紙媒体の書籍に加え、電子書籍も販売する。市民団体の「長良川鶺鴒文化応援団」と協働で作成することにより、岐阜市全体で鶺鴒に対する盛り上がり創出する。 ハンドブックリニューアル業務委託:0千円 ハンドブックライター報償費:0千円 ハンドブックライター旅費:0千円						
3	メタバース岐阜城プロジェクトー戦国岐阜城仮想再現計画ー		関連するKPI		①、③		0千円
	信長時代の岐阜城山上部、山麓部の様子を最新の調査成果に基づき仮想空間上に再現し、現地では立ち入り禁止となっている場所も自由に見学できるようにすることで、岐阜城について詳しく知ってもらう。また、仮想空間内での見学会や、イベント等を開催し、国内外の人にも岐阜城の魅力を発信できるようにする。それにより、市民が身近な存在である岐阜城の価値を見つめなおし、本市への愛着や誇りの醸成を図る。 協議会への負担金:0千円						
4	「ぎふMIRAI's」推進事業		関連するKPI		①、③		0千円
	歴史博物館は昭和60年に開館し、平成17年に総合展示室をリニューアルしているが、その後19年が経過し、展示設備の老朽化および展示効果の低減がみられる。史跡岐阜城跡の整備を含む、岐阜公園再整備関連事業とリンクしたリニューアルを実施することにより、本市固有の歴史文化を知ることができるような展示の充実を図り、地域の魅力向上と、市民の本市への愛着を創出するため、リニューアルを実施する。 0千円						
5	岐阜市の自然情報継続調査事業		関連するKPI		①、③		3,190千円
	岐阜市は清流長良川と緑豊かな金華山を有する自然豊かな都市である。これらの恵まれた自然環境とそこに育まれてきた生物多様性を後世に引き継ぐため、市内に生息する動植物の調査を実施し、生物多様性の保全へと繋げる。また、これらの結果を反映させたデータベースを作成し、活用する。 データベース作成 ・調査結果データ整理、調査結果データ解析、調査結果データ入力、データベースとGISとの調整など 委託費(人件費、報償費、旅費、消耗品費):3,190千円						
6	「ぎふMIRAI's」推進事業		関連するKPI		③、④		20,326千円
	岐阜市をフィールドとして、自分の目の前にあるリアルな「人・もの・こと」を対象とした探究的な学びを実施することにより、児童生徒一人ひとりが岐阜市の自然・歴史・伝統文化・産業・くらし等を深く理解し、岐阜市で活躍する様々な人の生き方に触れる。そうすることで、岐阜市に対する愛着と誇りを持ち、自分の生き方について考えることを通じて、将来どこで生きようとも自分の原点である岐阜市を心の拠り所として、グローバルな視野で自分の未来を拓くことができる力を育む。 報償費:2,664千円 バス賃借料:15,840千円 委託料(人件費、需用費、報償費、使用料・賃借料):1,800千円 手数料:22千円						
7	アクションスポーツ活性化推進事業		関連するKPI		②、③		10,837千円
	オリンピックの競技種目として、次々に採用されているアクションスポーツは、従来のスポーツの枠にとらわれない気軽さから、若年層の人気が高まっている。創成期にあるアクションスポーツにいち早く取り組み、国内選手による大会や体験イベントを開催、さらには市内施設を利用し、子どもたちに専門的な指導を受ける機会を創出し、競技のすそ野拡大を目指すことで、アクションスポーツの発信地の一つとなるよう、本市の新しい魅力創出を図っていく。 ・負担金:10,000千円(報償費、需用費(消耗品費、印刷製本費)、役務費(通信運搬費、広告料、保険料)、委託料(映像制作料等)、賃借料) ・アクションスポーツクラス開催経費(委託料:報償費、需用費(印刷製本費)、役務費(保険料)、賃借料):832千円 ・パルクール競技を事業対象とし、指導者が、岐阜市内にある施設を利用し、市内小中学生等に対して専門的な指導を行う ・オンライン決済手数料:5千円						

8	<p>民間主導まちづくり支援</p> <p>センターゾーンにおける重要なエリアであり、新たな賑わいの創出により期待値が高まる金華地区等において、実際の遊休不動産を対象に、エリア価値向上を前提とする物件活用案を提案するカリキュラムであるリノベーションスクールの開催により、地域資源を活用し歴史的な佇まいや文化・伝統を守り、官民が連携して未来へ継承できるまちづくりを推進し、エリアの価値向上を図る。</p> <p>委託料(人件費、需用費、賃借料):21,749千円</p>	<p>関連するKPI ③</p>	<p>21,749千円</p>
9	<p>プロ野球公式戦等を活用したシティプロモーション</p> <p>集客力の高いイベントであるプロ野球のゲームにおいて、来場者に向けたシティプロモーションを実施する。多くの来場者にPRグッズの配布やビジョンCMにより、岐阜市を印象づける。また、長良川、岐阜城、ぎふ長良川の鵜飼などの地域資源やさまざまな魅力情報を発信していく。ドームに隣接するイオンモールにおいて、岐阜市魅力発信庁内連携PRブースを設置するとともに、バンテリンドームで実施する「Gifu City Day」の試合開始前や試合終了後を有効活用し、プロモーション活動を展開する。また、在名局放送エリア世帯の約502万世帯(岐阜県80万、愛知県340万、三重県82万世帯)に対し、情報番組及びCMで、名古屋からのアクセスが良好で働きやすい環境をPRするとともに、本市の地域資源などの魅力を紹介することで、本市の認知度向上を図る。</p> <p>広告料:6,408千円</p> <p>委託料(人件費、需用費、使用料及び賃借料、役務費):7,136千円</p>	<p>関連するKPI ③</p>	<p>13,544千円</p>

全事業期間における本年の位置付け		〇本市の伝統的な歴史・文化、自然や新たな魅力に対する愛着や誇りの深化						
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③	
2027年4月	2028年3月	2027年3月	当初	年 月		年 月		
交付対象事業経費							69,646千円	
交付対象事業におけるソフト事業経費				要素事業数	9	計	69,646千円	
1	岐阜和傘需要喚起事業	関連するKPI		①、③		0千円		
	2021年度に岐阜和傘が「伝統的工芸品」に指定されたことを受け、岐阜市役所本庁舎とみんなの森ぎふメディアコスモス間に加え、JR岐阜駅、岐阜公園周辺等にエリアを拡大し、市民が気軽に岐阜和傘を利用できるようにする。触れる機会が少ない岐阜和傘に触れ、身近に感じてもらうことで、市民のシビックプライドを醸成するとともに、使用時の写真をSNS等で発信してもらうことにより、岐阜和傘の周知、販売促進を図る。また、和傘は岐阜和傘協会会員から購入することにより、伝統的工芸品を継承する職人への支援を図る。今後も1年目に購入した和傘を効率的に活用していくことで、経費の削減を図りつつ、より多くの人に和傘について知ってもらうようにPRしていく。 購入料:0千円							
	2	ハンドブック「長良川鵜飼再発見」リニューアル	関連するKPI		①、③		0千円	
		2022年度に長良川鵜飼未来シンポジウムを開催し、市民の鵜飼に対する関心が高まりつつあるなかで、ユネスコ無形文化遺産登録に向け、国内外に鵜飼の魅力をより分かりやすく発信する必要がある。そのため、2012年度に作成したハンドブック「長良川鵜飼再発見」を全面的に刷新し、従来の紙媒体の書籍に加え、電子書籍も販売する。市民団体の「長良川鵜飼文化応援団」と協働で作成することにより、岐阜市全体で鵜飼に対する盛り上がりを出創する。 ハンドブックリニューアル業務委託:0千円 ハンドブックライター報償費:0千円 ハンドブックライター旅費:0千円						
	3	メタバース岐阜城プロジェクトー戦国岐阜城仮想再現計画ー	関連するKPI		①、③		0千円	
		信長時代の岐阜城山上部、山麓部の様子を最新の調査成果に基づき仮想空間上に再現し、現地では立ち入り禁止となっている場所も自由に見学できるようにすることで、岐阜城について詳しく知ってもらう。また、仮想空間内での見学会や、イベント等を開催し、国内外の人にも岐阜城の魅力を発信できるようにする。それにより、市民が身近な存在である岐阜城の価値を見つめなおし、本市への愛着や誇りの醸成を図る。 協議会への負担金:0千円						
	4	歴史博物館総合展示室リニューアル事業	関連するKPI		①、③		0千円	
歴史博物館は昭和60年に開館し、平成17年に総合展示室をリニューアルしているが、その後19年が経過し、展示設備の老朽化および展示効果の低減がみられる。史跡岐阜城跡の整備を含む、岐阜公園再整備関連事業とリンクしたリニューアルを実施することにより、本市固有の歴史文化を知ることができるような展示の充実を図り、地域の魅力向上と、市民の本市への愛着を創出するため、リニューアルを実施する。 0千円								
5	岐阜市の自然情報継続調査事業	関連するKPI		①、③		3,190千円		
	岐阜市は清流長良川と緑豊かな金華山を有する自然豊かな都市である。これらの恵まれた自然環境とそこに育まれてきた多種多様な生きものを後世に引き継ぐため、市内に生息・生育する動植物の現況調査を実施することで、生物多様性の現状を把握し、生物多様性保全へと繋げていく。調査結果についてはデータベースを作成し、運用、更新することで、開発に係る希少種の保全、外来種対策など具体的な施策に活用する。また、シンポジウムや出前講座などを通じて、市民や子どもたちに、データベースの結果を共有することにより、本市の豊かな自然を守り、誇りに思う意識の醸成を図る。 委託費(人件費、報償費、旅費、消耗品費):3,190千円							
6	「ぎふMIRAI's」推進事業	関連するKPI		③、④		20,326千円		
	岐阜市をフィールドとして、自分の目の前にあるリアルな「人・もの・こと」を対象とした探究的な学びを実施することにより、児童生徒一人ひとりが岐阜市の自然・歴史・伝統文化・産業・くらし等を深く理解し、岐阜市で活躍する様々な人の生き方に触れる。そうすることで、岐阜市に対する愛着と誇りをもち、自分の生き方について考えることを通して、将来どこで生きようとも自分の原点である岐阜市を心の拠り所として、グローバルな視野で自分の未来を拓くことができる力を育む。 報償費:2,664千円 バス賃借料:15,840千円 委託料(人件費、需用費、報償費、使用料・賃借料):1,800千円 手数料:22千円							
7	アクションスポーツ活性化推進事業	関連するKPI		②、③		10,837千円		
	オリンピックの競技種目として、次々に採用されているアクションスポーツは、従来のスポーツの枠にとらわれない気軽さから、若年層の人氣が高まっている。創成期にあるアクションスポーツにいち早く取り組み、国内選手による大会や体験イベント等を開催、さらには市内施設を利用し、子どもたちに専門的な指導を受ける機会を創出し、競技のすそ野拡大を目指すことで、アクションスポーツの発信地の一つとなるよう、本市の新しい魅力創出を図っていく。 ・負担金:10,000千円(報償費、需用費(消耗品費、印刷製本費)、役務費(通信運搬費、広告料、保険料)、委託料(映像制作料等)、賃借料) ・アクションスポーツクラス開催経費(委託料:報償費、需用費(印刷製本費)、役務費(保険料)、賃借料):832千円 ・バルクール競技を事業対象とし、指導者が、岐阜市内にある施設を利用し、市内小中学生等に対して専門的な指導を行う ・オンライン決済手数料:5千円							

8	<p>民間主導まちづくり支援</p> <p>センターゾーンにおける重要なエリアであり、新たな賑わいの創出により期待値が高まる金華地区等において、実際の遊休不動産を対象に、エリア価値向上を前提とする物件活用案を提案するカリキュラムであるリノベーションスクールの開催により、地域資源を活用し歴史的な佇まいや文化・伝統を守り、官民が連携して未来へ継承できるまちづくりを推進し、エリアの価値向上を図る。</p> <p>委託料(人件費、需用費、賃借料): 21,749千円</p>	<p>関連するKPI</p> <p>③</p>	<p>21,749千円</p>
9	<p>プロ野球公式戦等を活用したシティプロモーション</p> <p>集客力の高いイベントであるプロ野球のゲームにおいて、来場者に向けたシティプロモーションを実施する。多くの来場者にPRグッズの配布やビジョンCMにより、岐阜市を印象づける。また、長良川、岐阜城、ぎふ長良川の鶴飼などの地域資源やさまざまな魅力情報を発信していく。ドームに隣接するイオンモールにおいて、岐阜市魅力発信庁内連携PRブースを設置するとともに、バンテリンドームで実施する「Gifu City Day」の試合開始前や試合終了後を有効活用し、プロモーション活動を展開する。また、在名局放送エリア世帯の約502万世帯(岐阜県80万、愛知県340万、三重県82万世帯)に対し、情報番組及びCMで、名古屋からのアクセスが良好で働きやすい環境をPRするとともに、本市の地域資源などの魅力を紹介することで、本市の認知度向上を図る。</p> <p>広告料: 6,408千円</p> <p>委託料(人件費、需用費、使用料及び賃借料、役務費): 7,136千円</p>	<p>関連するKPI</p> <p>③</p>	<p>13,544千円</p>